

おてんばな野心を、
次の週末に叶える本

NEXT WEEKEND

ネクスト ウィークエンド特別編集

Wishlist

- ・起き抜けの景色をとびきり美しいものにした
- ・好奇心をくすぐる新しい挑戦をしてみたい
- ...etc

今、衣食住を自然の中で。
美しすぎる、鹿児島への過ごし方。

#Discoverkagoshima

#Discover
Kagoshima

まずは鹿児島を知ろう

鹿児島県のシンボルと言えば、やっぱり桜島。活火山と共に暮らすということは、地球の鼓動、そして壮大なる自然の力を感じながら生きるということ。そんな鹿児島県での神秘的な生活は、世界的にも注目されています。また、県の約27パーセントが離島という鹿児島県には、南北約600キロメートルにわたって26の有人島が広がっています。そしてそれぞれの島にもまた、歴史や文化、唯一無二の物語が隠されているのだから、どこまでも奥深い鹿児島県の魅力。便利になると同時に、大きな時代の変化を迎え、ライフスタイルに本質が問われる今こそ、この地から、生きるヒントを学ぶことが沢山あるのかもしれない。

Sakurajima
言わずと知れた鹿児島のシンボル。噴火は日常の一部。約4,600人の人がこの島に暮らしています。

Yakusugi
教科書でもおなじみ。屋久島では、約1000年を超える杉を、特に「屋久杉」と呼ぶそう。

Sunamushi onsen
50cm 掘れば温泉が湧き出るといふ海岸で、世界的にも珍しい、指宿名物砂むし温泉。

Rocket
種子島にある、日本最大のロケット発射場。人類のロマンが詰まっています…!

Yagi
奄美大島では、ペットのヤギを散歩させるほどヤギだらけ…!天然記念物アマミノクロウサギにも出会いたいところ。

Tankan
南国のみかんこと、たんかん。温暖なところでしか栽培できないため鹿児島ならではの柑橘で、生産量は日本一。

ACCESS (主な路線) >>>

航空機	約1時間55分	鹿児島空港
東京(羽田・成田)	約1時間10分	鹿児島空港
大阪(伊丹・関西)	約1時間35分	
名古屋(中部)	約1時間50分	
福岡	約55分	屋久島空港
東京(羽田・成田)	約2時間15分	奄美大島空港
大阪(伊丹・関西)	約1時間35分	
福岡	約1時間25分	

約40分 / 約1時間

今、衣食住を自然の中で。
美しすぎる、鹿児島のご過ごし方。

#Discoverkagoshima

新しい生活様式の中で、
渴望するものの多くは、自然の中にありました。

大地からは温泉が湧き出て、
空はどこまでも澄みわたる鹿児島。
少しの間、暮らすように旅をして、
自分自身を感じるための過ごし方を提案します。

今回、私たち NEXTWEEKEND は、
鹿児島県の離島と本土を
3泊4日かけて巡ってきました。

事前に書き出した WISHLIST はこの5つ

- 起き抜けの景色を、とびきり美しいものにしたい
- 頭の中に BGM が流れてくるような冒険がしたい
- 自然の中で、自分の持っているものだけに集中したい
- 好奇心をくすぐる、新しい体験を試みたい
- 見たたびに嬉しくなる、旅のお土産に出会いたい

鹿児島県の離島と本土を巡りたい…!

南北約600キロメートルに渡って広がる鹿児島の旅は、まずは立地を把握することが重要です。移動手段は飛行機、フェリー、電車にレンタカーと様々。同じ場所にずっと滞在するのも素敵ですが、今回はNEXTWEEKENDが、フェリー以外の全ての乗り物を駆使して、鹿児島県を堪能してきた行程をご紹介します。



Day 1 東京 → 奄美大島

- 1 13:00 奄美大島に到着
- 13:30 郷土料理「鶏飯(けいはん)」ランチ
ドライブのあひだに美味しい珈琲をゲットして…
- 2 15:00 田中一村記念美術館へ
- 3 16:00 海辺のパワースポットとヤギのいる農園カフェへ
絶品ソフトクリームもゲット
- 16:30 海辺でサンセット
- 4 17:00 「MiruAmami」にチェックイン
ゲリラでキルタイム
- 18:30 地元レストランで名物料理を堪能
油そうめん、ヤギ肉のカレー etc…
- 20:30 ホテルに戻ってバーで1杯
奄美のカクテルを堪能!
- 21:30 デッキで星空鑑賞&ナイトプール

Day 2 奄美大島

- 7:00 サンライズに海辺を散歩
- 7:30 テラスで朝ごはん
- 5 9:00 大島紬村で泥染体験
世界中でここだけ。天然の染色方法でTシャツ作り
- 6 10:30 ビートウーバー「NESARI CHOCOLATE」でお土産探し
大島紬柄のパッケージが可愛い!
- 11:30 絶景カフェでランチ
- 7 14:00 マングローブ茶屋
神秘的なマングローブ原生林をカヌーで体験!
- 16:00 島だけのコンビニ「島人 mart」で買い出し
- 17:30 ホテルに宿泊



Day 3 奄美大島 → 鹿児島・指宿

- A 12:00 鹿児島空港到着
- 13:00 黒豚のトンカツランチ
- B 15:00 池田湖&開聞岳を散策
冬なのにコスモスと菜の花が…!
- C 16:00 レトロ可愛い砂むし温泉「砂湯里」へ
最高デトックス。終わった後は温泉でぽかぽかに。
- 17:30 指宿温泉に宿泊

Day 4 指宿 → 鹿児島市内 → 霧島 → 東京

- 7:00 日の出を見ながら、露天風呂
- 9:00 薩摩伝承館で薩摩焼の歴史を学ぶ
- 10:56 特急「指宿のたまて箱」2号に乗って鹿児島中央駅へ
- 13:00 鹿児島中央駅周辺で黒豚しゃぶしゃぶランチ
- D 13:00 鹿児島市内を散策
ずっと行きたかったCAFÉ SHOP!
- 14:00 レンタカーを借りて霧島へ
- E 15:00 パワースポット霧島神宮で参拝
- F 16:00 「きりん商店」でお土産探し
一言では言い表せない体験型ショップ!
- 18:40 レンタカーを返して鹿児島空港へ
霧島と空港が近いので、最後の最後まで楽しめちゃいます。



WISHLIST 01 起き抜けの景色をとびきり美しいものにしたい

朝は、毎日やってくる小さなリセットのチャンス。最初に視界に入るものや、身体に取り入れるものが、その日の自分を動かしていく。奄美大島は、そんな時間に触れていたいもので溢っていました。

日の出とともに目を覚ますということ

慌てて飛び起きるでもなく、「空の色が見たい」という、湧き出てくる興味で静かに目を覚まし、浜辺を歩いて部屋でコーヒーを淹れる時間。奄美大島は、初めて訪れた人にとって、ずっと前からここで暮らしていたかのような気持ちにさせてくれます。



プライベートビーチで、海を見るための椅子が贅沢!



ウェルカムドリンクをいただくロビー横の絶景デッキ。



新しい生活様式に合わせて、お部屋でいただくお弁当タイプの朝ごはん!

◆ Miru Amami

☎ 894-0412 鹿児島県大島郡龍郷町芦徳 800
☎ 0997-55-4066

旅館での日の出は、露天風呂から

海外のような奄美大島から、たった数時間の移動で、まったく違うカルチャーに触れられるのが鹿児島県の振り幅。西郷隆盛も湯治で通ったという、300年の歴史ある指宿（いぶすき）温泉には、今もお1日約12万トンのお湯が湧き出ています。



日本百景にも選定されている錦江湾が一望できる9階インフィニティ露天【天空野天風呂】



長い歴史の上で、きっと多くの人が見てきたであろう日の出に思いを馳せて



◆ 夫婦露天風呂の宿 吟松

☎ 891-0406 鹿児島県指宿市湯の浜 5丁目26-29
☎ 予約センター: 0993-22-2217

宿の前に広がる浜辺には壁面アートも! 朝のセルフのコーヒーサービスが嬉しい! *朝の時間限定・中止の場合あり

WISHLIST 02 頭の中にBGMが流れてくるような冒険がしたい

鹿児島県の島々には、まるで映画の中のような原生林が広がっています。気になる道を抜け、時に足を滑らせながら辿り着いた景色は、きっと忘れられないものになるはず。

空港からたった15分でジャングルの中!

レンタカーを走らせて、パワースポットと呼ばれるハートロックへ。干潮の時だけ出現する潮だまりなので、時間は要チェック。目的地へ向かう道はまるでジャングル…!



浜辺を歩いた後は靴から砂がこんなにたくさん!



畑の葉っぱをたくさん教えていただきました!



◆ 農園カフェ それいゆふあ〜む

☎ 894-0411 鹿児島県大島郡龍郷町赤尾木1346番1
☎ 0997-69-4802



ヤギミルクのソフトクリームを食べながら

空港周辺で
寄道!



Choice 1

ドライブのお供に島の珈琲



Choice 2

島の名物といえば「鶏飯(けいはん)」



Choice 3

ハートロックにちなんだ、ハートドーナツ

憧れのマングローブ原生林でカヌー体験



2021年夏に世界遺産登録が期待されている奄美大島。海と陸の境目の干潟に広がるマングローブ林は、満潮の時だけ、カヌーでその間を冒険することができます。サステイナブルな地球環境を考えた時に、生態系において欠かせないマングローブの存在を自分の目で確認しながら、ゆっくりとカヌーを漕ぐ、神秘的な時間。

◆ マングローブ茶屋

☎ 894-1205 鹿児島県奄美市住用町大字役勝7
☎ 0997-69-2189

ガイド付きツアーから、フリープランまで選べるカヌー体験



WISHLIST 03 自然の中で、自分の持っているものだけに集中したい

忙しい予定や煩惱に惑わされて、大きなものを抱えていると感じがちな現代社会ですが、私たちが持っているものはいつだってシンプル。



ポストカードや便箋のお土産

作品の世界に入り込める亜熱帯植物の庭

日本のゴーギャンと称される画家・田中一村が遺した作品を展示する美術館では、彼の愛した奄美の植物が植えられた庭を散策することができます。

◆ 田中一村記念美術館
 ☎ 0997-55-2635

絶景絶品のレストラン

ドライブ途中に出会って、すっかり大好きになったレストラン。外からは分からない秘密の庭には、大きなガジュマルの樹に椰子の木、晴れた日に座りたいテーブルが並び、これ以上他に必要なものはないと思うほど。



歴史と共に生きる鹿児島島の暮らし



坂本龍馬・お龍夫妻が新婚旅行で訪ねたとされるパワースポット霧島神宮



コスモスと菜の花とススキが一緒に咲き乱れる、冬の池田湖と開聞岳

大人になった今だからこそ 知っておきたい、歴史のこと

ミシュラングリーンガイドで1つ星を獲得した、建造物としても美しい薩摩伝承館。飛行機のない時代から、日本の玄関として様々な海外の文化を受け入れてきた薩摩の歴史がぎゅっと濃縮された場所。



◆ 薩摩伝承館
 ☎ 0993-23-0211

西郷隆盛の、半鐘のレプリカを羽織らせていただきました



WISHLIST 04 好奇心をくすぐる、新しい体験をしてみたい

「この先がどうなるか分からない」ということにワクワクできる心は、100年時代を生きる上で、とても大切なこと。奄美大島～鹿児島本土を巡って、様々な新しい体験をしてきました。

世界で唯一の伝統工芸、泥染めに挑戦

世界で奄美大島だけでおこなわれている天然の染色方法、泥染め。実際に大島紬を染める泥田に裸足で入り、真っ白だったTシャツを自分の好きな模様を絞りながら染めさせてもらいました。



柔らかくてひんやりとした泥田の感触…!

◆ 大島紬村
 ☎ 0997-62-3100



敷地内で買えるチョコレートが可愛い!

子どもから大人までの嬉しいサイズ展開



職人が優しく(そして面白く!)教えてくれます



波の音を聴きながら、砂に埋められる不思議体験! 指宿の砂むし温泉…!

海岸に自然湧出する豊富な温泉を利用した、世界で唯一の天然砂むし温泉。砂をかけられるたびに身体がじんわり温かくなり、目をつぶって波の音を聴いていると、夢の中のようなふわふわした気分。



砂むし温泉の後は、砂を流してすぐ隣の内風呂へ



温泉の蒸気で蒸された卵とサツマイモ



湯上りの指宿サイダー

◆ 砂むし温泉 砂湯里
 ☎ 0993-35-2669

WISHLIST 05 見るたびに嬉しくなる、旅のお土産に出会いたい

旅の醍醐味は、日常にインスピレーションを与えてくれること。そして折に触れてその旅のことを考えるためには、思い出たっぷりの写真と、そしてお土産が重要…！旅の最後に、今の気持ちに合うお土産を選んできました。



鹿児島空港すぐ近く！
“霧島のお茶とよかもん”を集めた古民家「きりん商店」へ

“よかもん”は、地元の言葉で“いいもの”を意味しますが、このお店のことを、言葉で表現するのはとても難しい…！ただひとつ言えることは、空港に近いからといって最後に立ち寄るのではなく、空港に到着してすぐに向かうのがおすすめ。なぜなら、楽しすぎて飛行機に乗り遅れてしまうから…！（実際の体験談）



きりんの
よかもん
集めました



ポップを読むと全ての物が欲しくなる、店主の愛が詰まった魔法のお店

なんと言っても店主杉川さんの人柄は、一同が一瞬でファンに…！

玄米餅ぜんざいに入れる餅を、自分で焼かせてもらいました

●きりん商店

☎ 0995-76-1355
〒899-6507 鹿児島県霧島市牧園町窪窪田14 24-2

庭の金木犀のシロップ漬けて作ったスカッシュ



「きりん商店で出会ったお土産」



郷土人形である粘土人形は、2021年の干支に合わせて。



お店のシンボルツリー、金木屋のお茶



鹿児島弁で作られたユニークな「あいうえお表」



桜島モチーフの著置き。噴煙がもはやキュート。



「薩男の一筆箋」なる商品。イワシの裏に、何を書こうかな。



椿油とツボ押し優しいセット…！

COLUMN

鹿児島島の離島が、今私たちに教えてくれること

初めて屋久島に行ったのは今からもう9年も前、新婚旅行のことです。「教科書で読んだし、やっぱり屋久杉は見なくちゃ！」なんて、軽い気持ちで行程を決めました。屋久杉を見るためには、実は結構な登山コースを通る必要があるのです。

深夜2時、宿泊先までガイドさんが迎えに来てくれてトロッコ道へ向かいます。残念なことにはその日は雨が降っていて、眠さも相まった私は、自分で決めたくせに「面倒だな」とすら思っていました。そんな時にガイドさんが、空を見上げて「ああ、本当によかった。森の1番いい顔が見えますね」と言いました。突然、見える景色が180度変わりました。



緑はどこまでも深く鮮やかで、倒れた木々にはコケが生え、そこに雨が降り新芽が出て、まさに森が循環していたのです。終えた後のビールだけを楽しみに登山をしていたら、その道のりは私にとって辛い修行になったかもしれませんが、言葉にできない美しい時間を過ごすことができました。大げさかも知れませんが、これまで出会った「いつも楽しそうな人」は、ただ運が良いのではなく、同じものを見ていても、視点が違うのかもしれない、とすら思いました。

その時から私の口癖は「せっかくなら」になり、どんな環境下でも工夫をする習慣が付き、多くのことを楽しめるようになった気がします。

鹿児島島の離島には、それぞれに伝説や歴史があり、そして県全体を通して、当たり前前に自然と人間が共生しています。圧倒的な自然の中で、自分は何を思うのか、先行きの見えないこんな時代だからこそ、自分の視点を確認する時間が必要なかもしれません。



村上萌 Moe Murakami

「季節の楽しみと小さな工夫で、理想の生活を叶える」をコンセプトに掲げるコミュニティメディア、NEXTWEEKEND 代表。新婚旅行で屋久島を訪れて以来、自然と共生する暮らしに感銘を受け、アスリートである夫の移籍に合わせて、兵庫、札幌、大阪、長崎と住まいを移しながら、東京との2拠点生活を送る。



鹿児島インスタ100選 / スポット紹介

国内外の方に、もっと鹿児島を訪れてほしい!という思いから、「あなたのフォトジェニックな思い出の1枚」というお題で集まった、100枚の写真たち。今回はそこから数枚抜粋しました。これだけカラフルな写真を見ていると、すべての季節の鹿児島を知りたくなってしまいます…!



- ① コーラルウェイ (与論町)
- ② 児玉美術館 (鹿児島市)
- ③ 金見崎ソテツトンネル (徳之島町)
- ④ 千本イチョウ (垂水市)
- ⑤ 千座の岩屋 (南種子町)
- ④ 火の神公園 (枕崎市)
- ⑦ 白谷雲水峡 (屋久島町)
- ⑥ 荒平天神 (鹿屋市)
- ⑧ 冠嶽園 (いち串木野市)

100枚全部を
見たい方はこちら▶



※掲載されているすべての情報は、取材時点のものになります。
営業時間や、開店の有無はご自身でお問い合わせの上楽しんでいただければ幸いです。